

お知らせ (18-7)
投稿歓迎 (400字まで)

7月24日
2018年

「憲法九条の会・生駒」
〒630-0246 生駒市西松ヶ丘 25-98 (長尾方)
<http://www.geocities.jp/ikoma9jo/>

発行責任者 池田順作 Tel/Fax 0743-76-8788

・・・(憲法9条に係わる最近の動きから)・・・

7月1日、3000万署名市民アクションが声明「さらに戸別訪問と対話を！」「秋の臨時国会めざし、次の集約は9月30日」

安倍改憲 No!3000万署名の推進本部、全国市民アクションは7月1日、声明を発表しました。安倍政権は、森友問題、加計問題など、ウソと居直りで国民の厳しい批判を受けながらも「年内の改憲発議」の方針を変えていません。しかし、ついにこの通常国会では発議に持ち込むことができませんでした。従って次の焦点は、秋の臨時国会です。改憲発議を断念させ、3000万署名を達成するため、全国の各地、各団体、個人みなさんに、もう一層の奮闘を呼びかけます。重視すべきことは、個別訪問によって、1人1人とよく話し、着実な面接と対話を積み重ねることです。次の第4次集約、9月30日めざして頑張りましょう。

●中学校道徳教科書に市民から意見提出、生駒市教育委員会は8月に教科書決定

愛国心と天皇への忠誠を謳う教育勅語が戦後廃止されて以来、自民党は学校教育への道徳の導入を執拗に追及してきましたが、ついに来年度から日本のすべての中学校に必修教科としての道徳が導入され、学級担任が文科省検定の教科書を使用して授業することが義務づけられました。(小学校は今年4月から実施)

その道徳教科書が8つの会社によって作成され、7月13日まで図書館で公開されたので「子どもと教科書生駒ネット21」は市民に呼びかけ、2度にわたり図書館に集まって学習会をかねて、実際に教科書1つ1つを閲覧しました。奈教組西村書記長の講演を聞き、DVD「教育と愛国」(毎日放送制作;別ページに解説)を見て、各教科書について市民が意見を出しました。今年から新規参入の「日本教科書」は、安倍首相のブレンが設立したもので、安倍首相の演説を掲載するなど、この教科書への批判が集中しました。

(関連記事;裏面に掲載)

●「憲法9条の会・生駒」に多くの募金を寄せていただき、篤く感謝申し上げます。

前々回のニュースで憲法9条の会・会計報告を行い、その中で9条の会の財政難を訴えたところ、多くのみなさんがこれに応じていただき、暖かい多額のご支援をいただきましたこと、本当にあつく御礼申し上げます。募金はその後も寄せていただき、7月15日現在合計68名の方から、合計223,000円を寄せていただきました。おかげさまで財政難を脱することができました。心から感謝申し上げます。

・・・・・・・・・・これからの予定・・・・・・・・・・

- 7月28(土) 般若寺・平和の塔のつどい (16:00~17:30 第29回原爆犠牲者追悼)
- 7月28(土) 佐藤栄佐久前福島県知事の反原発のたたかひの記録映画(100分)と本人の講演、その他 (13時~17時半、龍谷大学アバンティ響都ホール=京都駅八条口直結「アバンティ」9F)
- 7月29(日) スノーデンに単独インタビューした唯一の日本人ジャーナリスト;小笠原みどり講演 (13:30~コープイン京都202号室;烏丸四条から徒歩5分。元朝日新聞記者)
- 8月6(月) 核廃絶署名宣伝(10:30~11:30 生駒駅) 9条署名、水害被災者募金も
- 8月19(日) 安倍改憲No!3000万署名(11~12時 生駒駅)
- 同日 夏のつどい(午後1:30~4:00 図書館)主催;生駒市平和委員会
- 9月16(日) 鹿ノ台小校区9条の会・平和のつどい(16:00~17:30)

第167回 「憲法九条の会・生駒」運営委員会

2018年8月21日(火) 午前9:30~12:00 たけまるホール和室B

当会は運営委員を決めていません。当日参加された会員(1日運営委員)で構成しています。

お時間が許せばご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

● 6野党の緊密な協力体制が進む

野党共闘は、かつてない高い段階に達しています。6野党の国体委員長連絡会（野国連）は、毎週水曜日の午前中に1～2時間とって、現状認識とたたかいの方針を討議することが定例化しています。また、6野党の「合同院内集会」が節々で開催され、野党議員全体で方針を共有する努力もしています。さらに、官僚役人相手の、野党「合同ヒアリング」を、あらゆる問題で、あらゆる機会に開いており、すでになんと92回も実施。「2つめの国会」といわれる大事な役割を果たしています。

● 来年の参院選へ、自民の焦りか？

6月になって、自民党は参議院の定数6増改定を急に言い出し、会期延長までして強行採決で成立させました。内容は、結果として自民だけが有利な結果をもたらしそうなもので、埼玉選挙区の定数6（3年ごと半数改選）を8にして、1票の格差を3倍未満にし、比例代表の定数を4増やして、「特定枠」として拘束名簿式を一部導入する。四国と山陰の合区対象県で選挙区の候補者になれなかった人を、比例代表の名簿順位で優遇して救済する、というもの。

2013年参院選では、1人区で自民30勝、野党1勝（糸数慶子）だったが、これは野党共闘ができていない状態だった。2016年参院選（自民20勝、野党11勝）のように野党共闘で戦うならば、自民を大幅に減らすことができる。これを見越した自民の焦りか？

なお、奈良県では、2013年参議院選挙は自民堀井35万、民主大西14万、共産谷川9万。2016年では自民佐藤29万、統一候補前川21.6万、維新吉野12万、幸福田中1万。

● 首相「育鵬社の教科書を採用させるには、教育委員を入れ替えればいいんですよ」

毎日放送制作の「映像17 教育と愛国～教科書でいま何が起きているか」は、第55回ギャラクシー賞テレビ部門大賞を受賞し、7月7日にも再放送されました。「子どもと教科書生駒ネット21」が、教科書閲覧のため7月6日に図書会館に集まったときにも、そのDVDを鑑賞しました。（3ページの記事参照）

この中で、2分間だけ安倍首相が登場するシーンがあり、こう語るのです。「育鵬社の教科書を採用させるには、教育委員を入れ替えればいいんですよ」……この発言は、まさに彼の政治手法の真髄・本音を語るものです。大阪府下で最初に育鵬社の教科書を採用した東大阪市の野田市長（右翼団体日本会議地方議員連盟の設立発起人の1人）は、教育委員の過半数に右翼的人物を入れ、ついに育鵬社を採用させました。

安倍首相は、あらゆる場面で人事を支配することを重視し、安倍独裁体制を次々と築いている。

- ① 内閣の閣僚19人は、国交相を除いて日本会議又は靖国派で占められており、全員が安倍首相のイエスマンで、首相に反対する者は誰もいない。
- ② 官邸に「内閣人事局」なるものを2014年5月に設置、それまで各省庁で内部の人事を決めていたものを、これ以降はどの省庁も上級幹部を選ぶことができなくなり、数百人の幹部選出は官邸の支配下に置かれることとなった。だから森友加計問題でも、首相夫妻に不利な事案はすべて捻じ曲げて報告した。もし真実を語り、首相から睨まれたら、身分が危なくなる、という心理に追い込んでいる。
- ③ 戦後、どの自民党内閣でも、「集団的自衛権の行使は憲法9条違反」と内閣法制局長官が国会で答えてきた。だが、首相はこの首をすげ替え、2014年5月に選ばれた横畠内閣法制局長官は「9条違反ではない」と言い出し、海外で自衛隊が米軍と軍事行動できるよう解釈変更させ、「戦争法」成立を強行した。
- ④ NHK会長に靱井氏を、日銀総裁に黒田氏を起用したのも、首相に逆らわない体制づくりの一貫。

野党共闘と市民の力で、何としても安倍9条改憲を阻止しよう

安倍9条改憲 NO！ 3000万署名を成功させよう！